



INTERVIEW

## 福島で、実現する。

あなたが実現したいことは、なんですか？



林業

先輩職員インタビュー

「新たな技術を積極的に取り入れ

山地災害から県土を守る」

所属

県中農林事務所 森林林業部 森林土木課

● これまでの経歴(所属年度)

H29~R1 県北農林事務所 森林林業部 森林土木課

R2 ~ 県中農林事務所 森林林業部 森林土木課

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 私の所属する森林土木課では、林道事業や山地災害の予防・復旧を行う治山事業などを行っています。その中で私は治山事業を担当しており、令和元年東日本台風で発生した山地災害の復旧工事の現場監督や関係機関との調整などを行っています。

近年は、台風や集中豪雨、地震等による山地災害が全国的に多発していることもあり、山地災害の予防や復旧を通じて、県民の皆さんの安心・安全な生活を支える、重要な役割を担っていることにやりがいを感じています。



Q. 福島県職員として、実現したいことを教えてください。

A. 林業職の仕事は、私が担当している治山事業のほか、林道の整備や森林整備、経営指導に関すること等多岐に渡ることから、まずは様々な仕事を担当して幅広い知識の習得と経験を積みたいと考えています。

また、その中でも新しい取り組みや技術には、特に積極的にチャレンジすることを目標としています。現在は、UAV（ドローン）で撮影した画像を用いた簡易写真測量に関する検討を進めており、山地災害発生時の現地調査の効率化や二次災害のリスク低減に繋がりたいと考えています。



Q. 仕事をする中で嬉しかったことを教えてください。

A. 工事の現場監督では、様々な疑問や問題に直面しますが、その問題等を素早くかつ正確に解決することが施工業者の方や地権者の方との信頼関係構築に繋がります。

工事の完成を迎えた際には「あなたが監督員（担当）でよかった！」と声をかけていただくこともあり、仕事のモチベーションに繋がっています。



Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「山地災害」「UAV（ドローン）」「ワーク・ライフ・バランス」「育児休業」「民間経験」

Q. 「ワーク・ライフ・バランス」について教えてください。

A. 令和3年度に、1ヶ月間の育児休業を取得しました。

我が子の成長を間近で感じる貴重な体験ができた一方、改めて育児の大変さを知りました。遠距離通勤を言い訳に平日の育児に参加できなかった生活を改め、よりメリハリをつけた働き方を意識して日々の業務に取り組んでいます。



Q. 受験者に向けたメッセージをお願いします。

A. 福島県の森林・林業行政の推進のために、みなさんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています！

★ この職員のインタビューはパンフレットにも掲載しています。ぜひご覧ください！